

まえがき 2

1章 個を大切に育成することが成功の要素である理由

1. 人の可能性を信じること 16
2. ラベル付けが引き起こす、あきらめと苦しみ 21
3. 育てることは押しつけることではありません 27
4. その人にふさわしい関わり方をする 34

2章 育てられる立場の目線を忘れず育成しよう

1. 相手目線に立って育てること 44
2. 育てられる側から見えるもの 48
3. 会話から聴いてほしいのは相手の心音です 53

3章 育てる側のパラダイムシフトが、心の安定を図る

1. 良いところを見つける目を育てること 64
2. 悪くとらえるのは、自分を擁護したいという表れです 69
3. 物事は、見方を変えれば楽になる 73

4章 失敗は最大のチャンス！ 育成・指導の種にする

1. 都合の悪いことは成長の種 80
2. それは誰にとつて都合が悪いのでしょうか 83
3. 失敗から学べと放置するのは責任放棄です 87
4. 叱る技術、行動変容のための提案と要望の技術 92
5. 無意識に行動制約をする部下を過去の経験から解き放つ 99
6. 人との距離が物理的に空いたから、マネジメントが難しくなったのですか？ 107

5章 キャリア開発の基本的ルールから育成を試みる

1. 受け入れた中から選択すること 112
2. 価値観の違いを受け入れるために必要なこと 118
3. 過去の経験は活かすもの 125

4. キャリア履歴と才能、性格とのマッチング 130

6章 「ありがとう」という感謝が可能性を開く理由

1. ありがとうの本当の意味を知ること 137
2. 嫌味になったら、すべてをなくす 142

あとがき 147